



マネジメントメッセージ

ネットワークの持つ 巨大な可能性を切り拓きます

インターネットという100年に一度の技術革新は、政治から産業、経済、暮らしに至るまで、あらゆる社会の仕組みを根底から変え続けています。しかし、その巨大な可能性は、いまだに全容を把握することは難しく、日々、技術革新が進み、想定を超える広がりを見せています。

1992年、IIJは日本で初めての国内インターネット接続事業者として創業し、以来、日本のインターネットのパイオニアとして技術面を中心にイニシアティブをとり続けてまいりました。インターネット接続事業で培った高い技術力と国内最大級のバックボーンネットワークをベースに、クラウドをはじめとするアウトソーシングサービス、WANサービス、システムインテグレーション等をトータルに提供するソリューションプロバイダーとして事業領域を拡大し、お客様のあらゆるネットワーク利用の要望にワンストップで応える企業グループとして成長を遂げました。

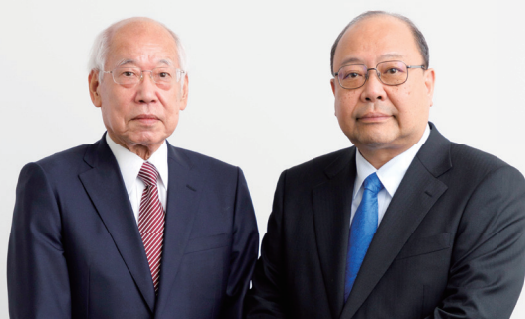
インターネットは「情報」と「通信」の技術基盤を

共にすることによって、世界のあらゆる仕組みを変えてしまう技術革新です。すべての情報がネット上の空間にあることで、その可能性は無限の広がりを持つことになります。

ネットワークの高速化、プロセッシング(データ処理)の高機能化によって、クラウド・コンピューティング、IoT、AIといった技術が、コンセプトから具体的なサービスとして実用化され、世界の仕組みと構造を変えてしまう時代が既に始まっています。

このような大きな流れの中で、IIJグループは、持続的なイノベーションこそが新たな産業を創出できるのだという強い信念をもって事業を展開してまいりました。これからも、「高い品質と信頼性」という創業以来の基本方針のもと、お客様に新たな価値と利用形態を提案する革新的なサービスの提供を通じて、ネットワーク社会の発展とデータ活用による新たな価値の創出に貢献してまいります。

代表取締役
会長執行役員
鈴木 幸一



代表取締役
社長執行役員
谷脇 康彦

インターネットを 真の社会インフラに

企業理念

- 技術革新によりネットワークインフラストラクチャーを発展させる
- ネットワーク社会を支える仕組み(ITサービス)を提供する
- 自己実現する職場の提供(多様な才能・価値観を有する人材が活躍できる場)

IIJが実現を目指す 「データ駆動社会」

社会活動を通じて多数のステークホルダーから生成・蓄積されるデータが、データ生成者の権利を守りながら安全に流通する社会。

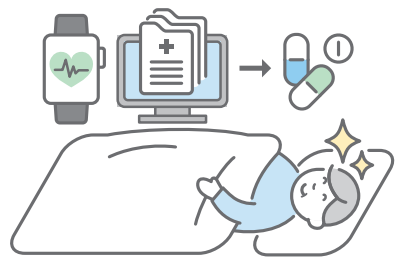
それらのデータから得られる洞察をもとに、これまで解決が難しかった様々な社会課題が領域横断的かつ持続的に解決される社会。

IIJはこうした「データ駆動社会」の担い手となり、2030年代にはより高度で広範な社会課題が解決される未来を目指しています。

たとえば

バイタルデータ × 病歴

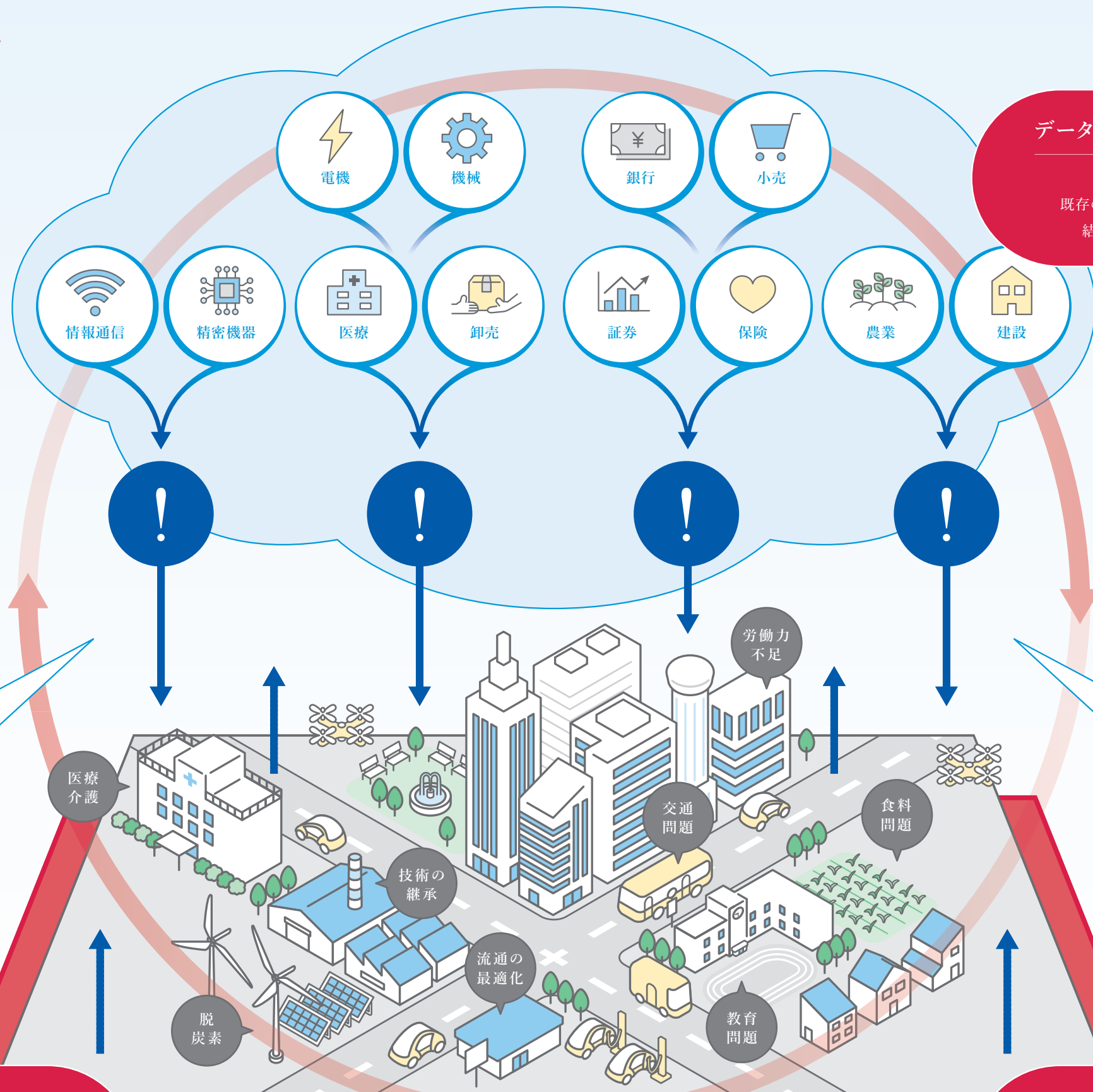
で、個別化予防医療を実現



1

データの生成と蓄積

企業・産業・国境の枠組みを超えて、多様なステークホルダーが新たなデータを生成・蓄積。



2

データの結合・交換による新たな知見

生成・蓄積された大量のデータが、既存の領域やステークホルダーの垣根を越えて結合・交換され、新たな知見を生み出す。

たとえば

店舗在庫データ × 渋滞情報

で、店舗への効率的な納入が可能に



3

社会課題の解決

これまで解決の糸口が見いだせなかった社会課題が、既存の枠組みを超えたデータの流通・分析により、横断的に解決できる。

エコシステムを支える IIJ の技術とサービス

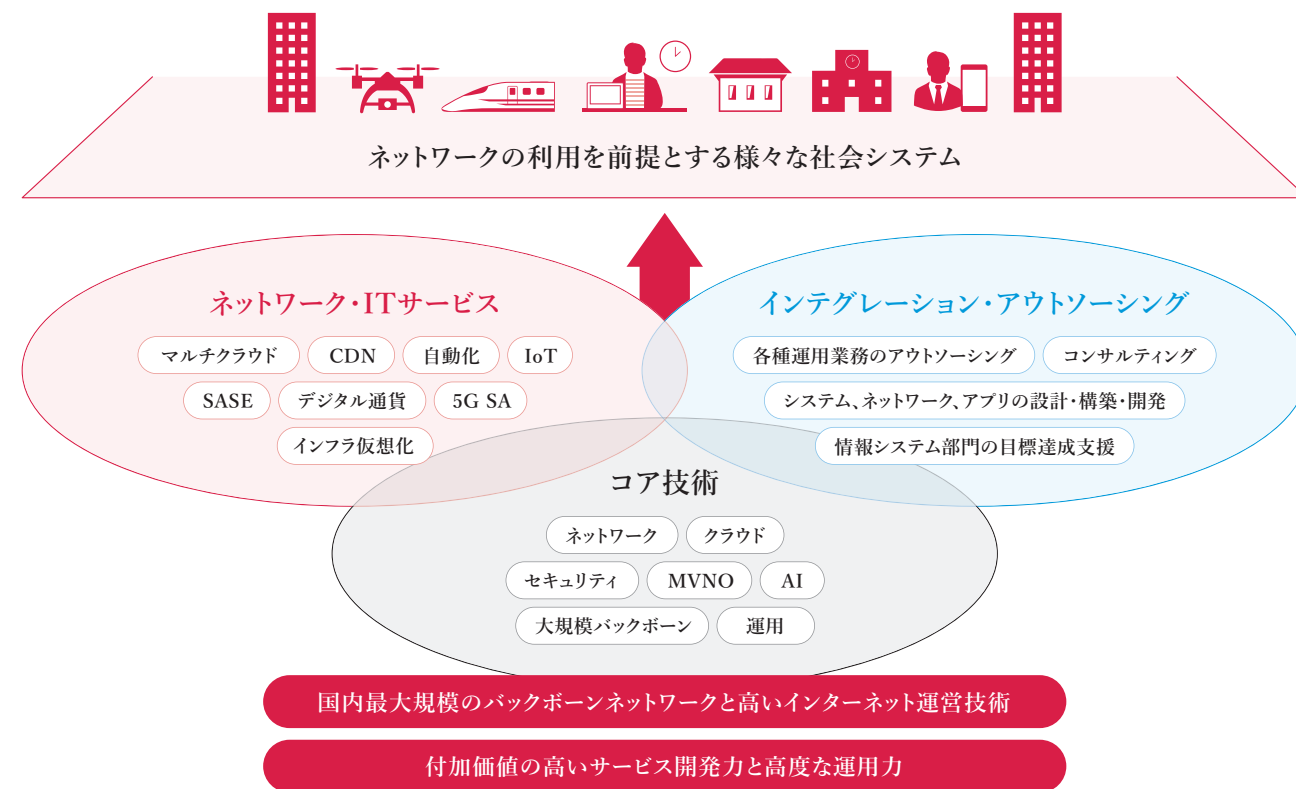
IIJの強み

技術力

たゆまぬ開発・研鑽で高め続けてきた
コア技術と、そこから生まれた
信頼のサービス群で社会を支える

IIJは創業以来、社会の需要を先取りし、革新的な技術を標準化して、多くのネットワークサービスを世の中に送り出してきました。また、システムインテグレーションや運用で得た知見を活かし、お客様に必要とされるITサービスを創り出してきました。

IIJは創業以来、社会の需要を先取りし、革新的な技術を標準化して、多くのネットワークサービスを世の中に送り出してきました。また、システムインテグレーションや運用で得た知見を活かし、お客様に必要とされるITサービスを創り出してきました。



トータル ソリューション

独自プラットフォームで
企業のDX推進を支える

業界・業種・利用シーンを問わず、私たちのビジネスや暮らしを取り巻く環境では、急速なDX化が進んでいます。たとえばオフィス業務では、いつでもアクセスできて、かつ働く場所を問わないワークスタイルが、欠かせないものとなりました。農業・工業・輸送業などの現場では、IoTを活用した省力・省人化が進んでいます。教育、医療福祉、暮ら

しといった領域でも、速やかな情報共有が不可欠で、ネットワークにつながっていることが前提となっています。私たちはこうした「DX化が進んだ世界」を支えるIT環境を、ワンストップで実現します。そして、DX化を快適かつ安全な状態で実現できる、高品質なトータルソリューションを、ワンストップで提供しています。

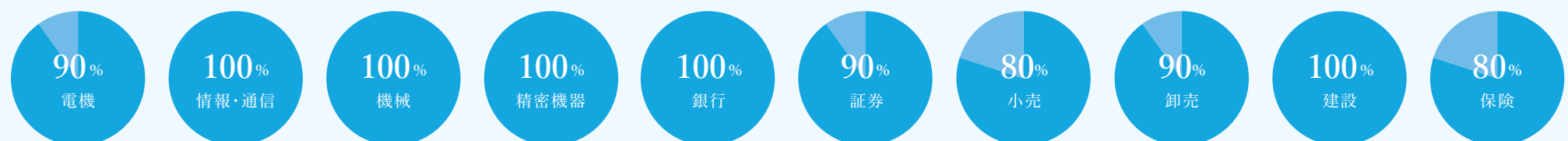


信頼性

業界をリードする、
多様な業種のお客様

IIJグループのサービスは、大手・中堅企業や官公庁を中心に約16,000社(2026年3月末時点)のお客様に導入され、その信頼性に高い評価をいただいています。

■ 業界トップ10企業へのサービス浸透率 (当社のサービス提供企業)※

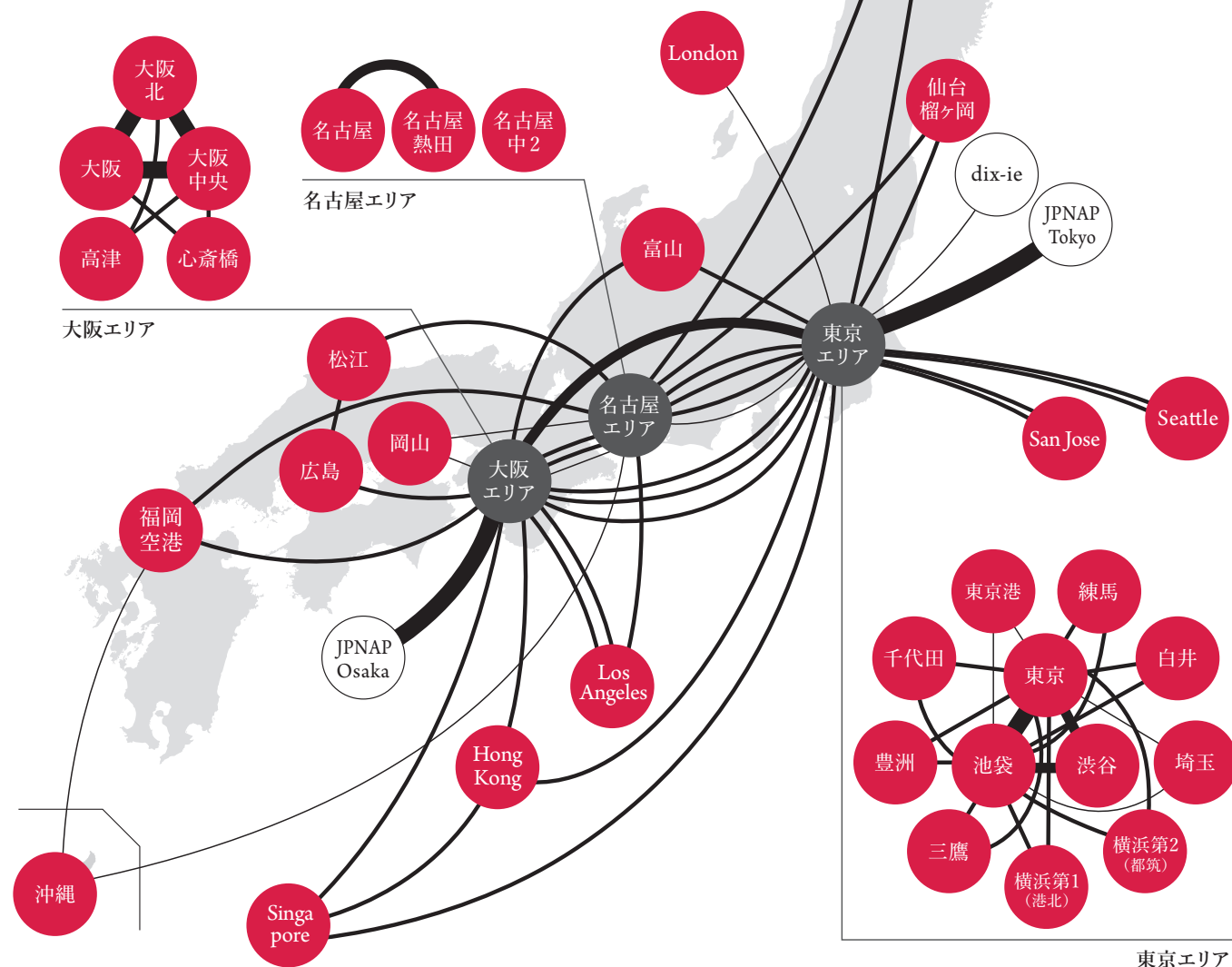


(※) 業界TOP10企業への浸透率は、業界ごとの連結売上高上位10社(出典：Yahoo!ファイナンス・売上高・全市場・デیلیーをもとに当社作成)のうち、IIJがサービスを提供している比率であり、2025年度のIIJ単体実績をもとに当社作成。

Japan

日本最大規模、 世界を一周する 大規模ネットワーク

東京エリア、大阪エリア、名古屋エリアを中心とした国内多数のデータセンターとネットワークオペレーションセンター間を、冗長化された大容量の回線で接続して構成しています。IIJのバックボーンネットワークは、アジア、アメリカ、ヨーロッパに至り、世界を一周しています。



IIJバックボーンネットワーク

● データセンター及びPOP

(2026年6月現在。日本国内及び日本からの接続があるPOPを記載。)

信頼性の高いネットワークを実現するため、
設計、構築を繰り返し、つくりあげた実績

ネットワーク稼働率
99.9999%

IIJのバックボーンネットワークは、主要都市のデータセンターやネットワークオペレーションセンター間を、大容量のデータ転送が可能な高速デジタル回線でつないでいます。その稼働率は99.9999%。年間停止時間は、わずか30秒です。

総帯域
16,532 Gbps

バックボーンネットワークの増強を継続的に行うことで、お客様の快適なインターネット利用を実現しています。法人向けインターネット接続サービス契約総帯域は、2026年3月末時点において16,532Gbpsを誇ります。

外気冷却を採用し、高い省エネ性を誇るデータセンター



松江データセンターパーク(松江DCP)
白井データセンターキャンパス(白井DCC)

2011年に松江DCP、2019年に白井DCCと、IIJではより効率的なDCの形を考え、自社開設を進めてきました。これらは、IT装置と建物をひとつのユニットとして運用するというコンセプトで設計され、柔軟かつ安価な設備構築、設計から施工までの体系化・省力化を実現しています。IIJは2030年度までに、DCの再エネ利用率を85%まで引き上げることを目標とし、自家発電や再エネ電力購入を開始しています。また、DCにおいて大部分を占める空調設備の消費電力を削減する外気冷却空調方式、リチウム蓄電池の活用などの省エネ化、電力利用効率の最適化を進めています。



エッジデータセンターソリューション
「DX edge」

DX、IoTの普及に加え、近年はAI処理の進展によるデータ量の増加や処理の高度化に伴い、クラウドだけでなく現場(エッジ)での分散処理の重要性が高まっています。IIJはエッジデータセンターソリューション「DX edge」を提供しており、コンテナ型データセンターや屋内外に設置可能なマイクロデータセンターに加え、高消費電力のGPUサーバに対応したモジュール型エッジデータセンター「DX edge Cool Cube」をラインアップとして展開しています。これにより、お客様はエッジ環境や次世代のサーバールームを効果的に整備することが可能です。さらに、本ソリューションはIIJが設計・構築から運用までワンストップで提供するため、運用リソースとコストの削減にも寄与します。

自社データセンターにおける温室効果ガス削減の取り組み

取り組み施策	2030年度までの目標	2025年度実績
再生可能エネルギーの利用	データセンター(Scope1・2) ^{※1} の 再生可能エネルギー利用率 85%	65% (松江DCPは再生可能エネルギー利用率100%を達成)
エネルギー効率の向上	データセンターのPUE ^{※2} を 業界最高水準の1.4以下にする	松江DCPのPUE:1.38 白井DCCのPUE:1.31

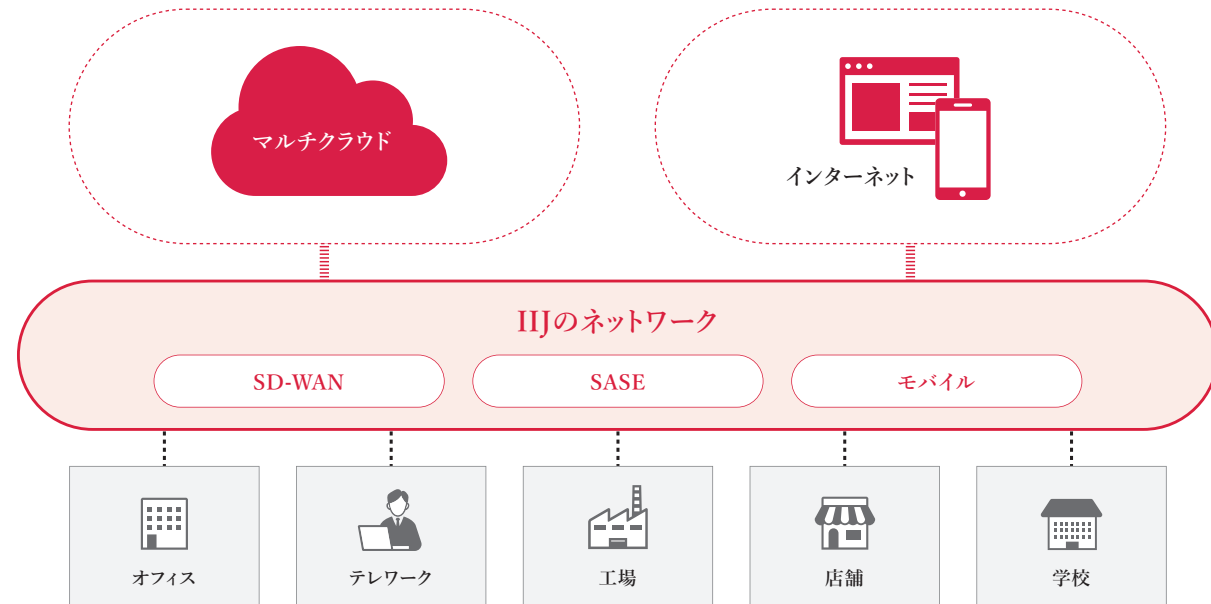
(※1) Scope1・2(自社での温室効果ガス排出): 自社での燃料の使用や工業プロセスによる直接排出及び自社が購入した電気・熱の使用に伴う間接排出(GHGプロトコル定義)

(※2) PUE(Power Usage Effectiveness): データセンター施設全体のエネルギー使用量÷IT機器のエネルギー使用量

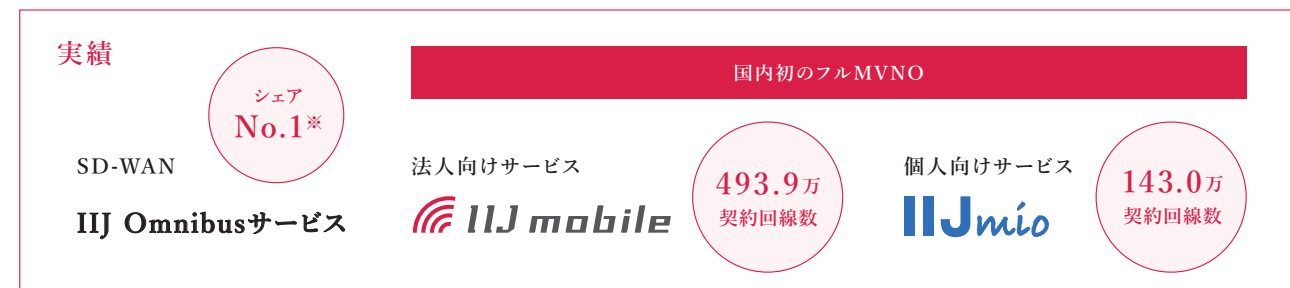
もっと詳しく <https://www.iiij.ad.jp/sustainability/materiality01/climate/tcfd/>

■ ネットワーク・モバイル

インターネット接続をはじめとする数々の国内・世界初のネットワーク関連サービスを、IIJは継続的に開発しマーケットを牽引しています。



ビジネスと社会を支えるIIJのネットワーク



※出典) 富士キメラ総研「2025 コミュニケーション関連マーケティング調査総覧」2024年度の年度末時点のサービス利用CPE累計台数ベース

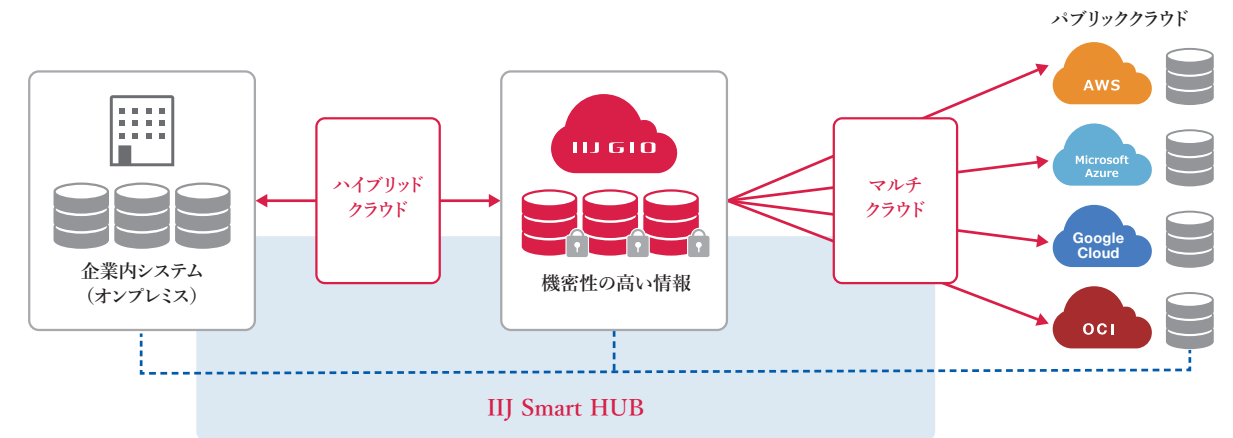
(2026年3月末)

■ クラウド

IaaS、データ連携、監視・運用、インテグレーションなど、幅広いラインアップのサービスを提供しています。

マルチクラウド活用の世界へ

国産クラウド「IIJ GIO (ジオ)」をはじめ、各種クラウドサービスを組み合わせたマルチクラウドMSP(マネージドサービスプロバイダ)として、多くのお客様を支援しています。



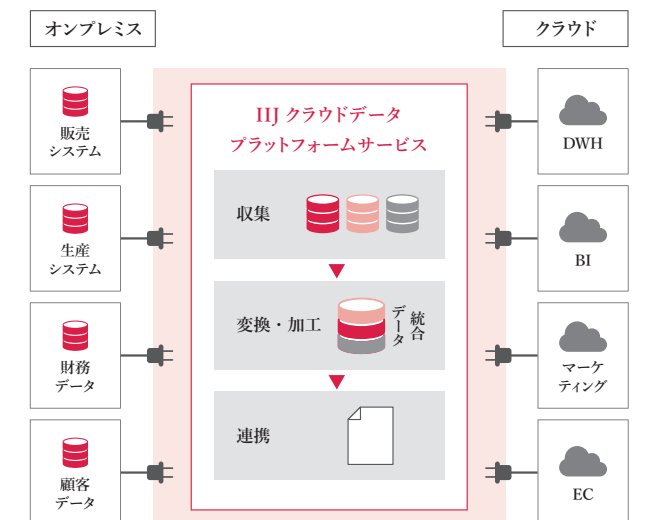
クラウド活用ガードレール

クラウド移行で生じる課題やリスクに対応するベストプラクティスを「クラウド活用ガードレール」として公開。豊富なデザインパターンで素早く、安全に、ビジネスゴールの達成へ導きます。



クラウドデータプラットフォーム

オンプレミスやクラウドに散在するデータを収集・加工・連携するプラットフォームをサービス提供。データのハブとして、DXを加速させます。



各種認証を取得 (IIJ GIO)

- クラウドセキュリティ認証 (ISO/IEC 27017:2015)
- 政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 (ISMAP)
- 業務受託会社の内部統制に関する保証 (SOC1/SOC2報告書)

認定パートナー

- Google Cloud 公式パートナー
- AWSアドバンストティアサービスパートナー
- マイクロソフト ソリューション パートナー

■ セキュリティ

目指すのはセキュリティが組み込まれたサービスの提供を通して、脅威を意識せずに、企業が本来の活動に専念し、安心して生活できる未来です。

トータルセキュリティ 急速に変化する脅威に対抗するために、セキュリティ対策の全体像を体系化。独自の情報分析基盤やSOCを核として、多彩なセキュリティサービスを展開しています。



セキュリティオペレーションセンター（SOC）

24時間365日体制で膨大な情報から「迅速・正確に」リスクを検知・対処するために必要なシステムと人を最適に配置した施設です。



安全をあたりまえに



wizSafe（ウィズセーフ）は、お客様の安全を実現するために行うIIJのセキュリティの取り組みを総称するブランドです。

実績

セキュリティ
サービス
売上
409.1億円

Mailセキュリティ
IIJセキュアMXサービス

約308万
アカウント

Webセキュリティ
IIJセキュア
Webゲートウェイサービス

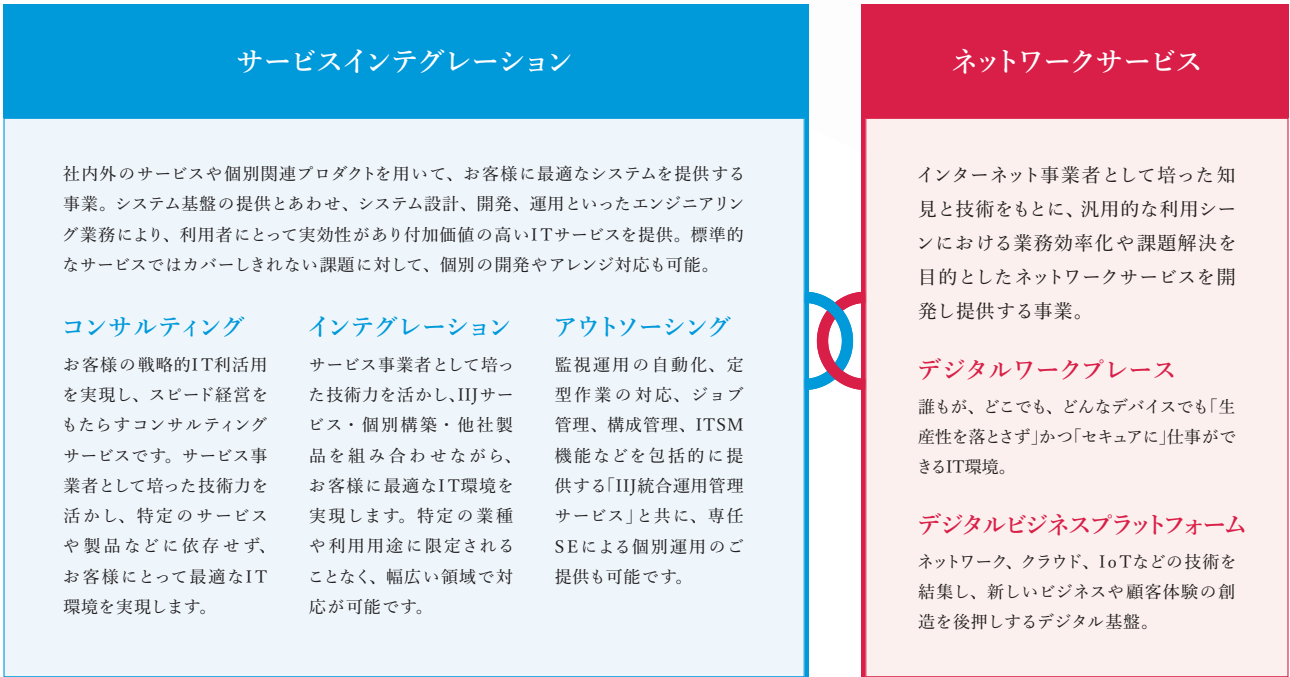
約120万
アカウント

(SIを除く) (2025年度実績)

(2025年12月末)

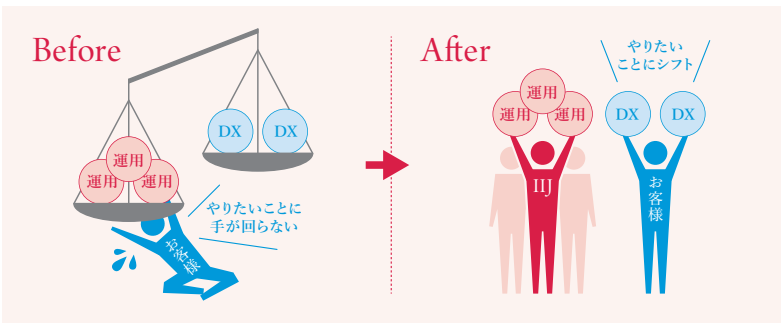
■ サービスインテグレーション

IIJはサービスの開発運用力とお客様個別のネットワーク、システムの構築運用力を有する、いわばサービス事業者とSI事業者の双方の強みを兼ね備えた総合ICTパートナーです。お客様のIT戦略の立案や施策遂行支援を行うコンサルティングサービスから、システムの設計、構築、運用までをワンストップで提供し、お客様が貴重なIT人材を注力すべき領域にシフトできるよう全面的にサポートします。



提供価値

深刻なIT人材不足の現状において、限りあるリソースを戦略、企画、DXなど企業の競争力を高める領域に集中させるためには、システム運用などアウトソース可能な領域を信頼できるパートナーに任せることが重要です。IIJは既に実績があるデザインパターンを用い、標準化されたITサービスを活用したインテグレーションを実施することで、お客様が注力すべき領域に集中できるよう支援します。



■ IoT

モバイルを中心に、閉域ネットワークやデバイスゲートウェイ、プラットフォームなど、IoTに最適なサービスとインテグレーションで、お客様のIoTビジネスをご支援します。

産業	農業・地域課題解決	建設・物流	環境・エネルギー
IIJ産業IoTセキュア リモートマネジメント 機器の監視や稼働状況の可視化等、産業IoTに必要なコンポーネントをワンストップで提供。	IIJ水管理 プラットフォームfor水田 低価格水田センサーMITSUHA「LP-01」と無線基地局をパッケージ化し、水田向けリモートセンシングサービスを実現。	IIJ LoRaWAN® ソリューション LoRaWAN®デバイス機器と、IIJの通信やクラウドサービスを組み合わせて、温湿度管理や設備の施設管理などを実現。	IIJ高圧スマートメーター Bルート活用サービス 高圧スマートメーターから電力量等の計測値を取得し、デマンド監視やデータの可視化を実現。

IIJ IoTサービス（デバイス・ネットワーク管理のプラットフォーム）

■ 放送・配信

動画制作・配信用の基盤提供、制作・放送システムのIP化など、IIJのIP技術を元にしたサービスを提供します。

放送とIP

MoIPや放送コンテンツの配信、多拠点からの中継映像配信など、放送サービスと親和性が高いソリューションの提供。

配信ネットワーク

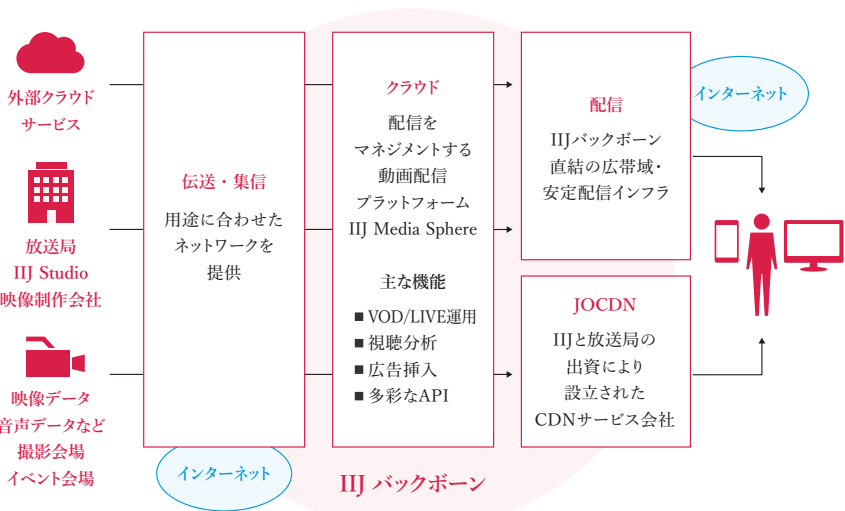
現地からの打ち上げ用、拠点間伝送用など、現地で必要とされるネットワークやインフラの提供。

動画配信プラットフォーム

VOD/LIVE配信に必要な、コンテンツ保護、広告運用、視聴分析、CDNなどの機能を提供。

配信拠点・コンテンツ制作

「IIJ Studio TOKYO」での高品質なコンテンツ制作環境および配信拠点の提供。



■ ヘルスケア

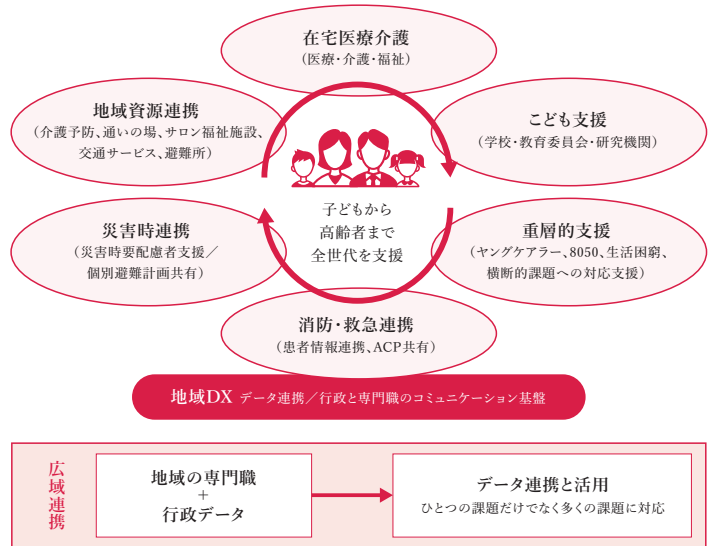
地域のくらしを支える専門職が、安心、安全に情報を活用できるプラットフォームを提供しています。

IIJ電子@連絡帳サービス

IIJは「地域のくらしを支えるプラットフォーム」の構築を目指し、名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部と共同研究をしてきました。

「IIJ電子@連絡帳サービス」は、自治体、医師、訪問看護師、ケアマネジャー、訪問介護士に加え、教職員、スクールカウンセラーなど様々な職種が行う地域包括ケアやこども支援に活用できる、クラウドサービスです。

患者・家族と支援者が連携する「このーと」、救急隊員に情報を提供する「救急情報連携」、有事の際に要配慮者の安否確認を実現する「災害時連携」などのオプションを数多く提供。地域に合わせた課題解決を全世代に向けて支援しています。



■ プライバシー・データ保護対応

個人データ、IoTデータ、AIが生成するデータ等の利活用が進むと同時に、法規制も世界中で強化されています。

IIJはDX時代に求められる、グローバルでのデータガバナンス対応を支援します。

コンサルティング・アウトソーシング

グローバルでのデータガバナンス体制・ルールの構築支援、実際のデータ運用を支えるツールの導入支援等多くのグローバル企業をサポートしてきたノウハウをもとにアドバイスします。またDPO/CPO補佐等のアウトソーシングサービスも充実しています。

クッキーバナー導入支援

クッキーレス時代でも引き続き必要なグローバルでのCookie規制対応を、デジタルマーケティングとのバランスを取りながら、コンプライアンス、IT、企業倫理の観点で支援します。ダークパターンにならない実装もアドバイスしています。

会員制ポータルサイト「BizRis」

海外の規制・執行事例等ニュースや実務で使えるテンプレート類、アドバイス等を日本語でご提供するポータルサイトです。
<https://portal.bizrisk.ij.jp>



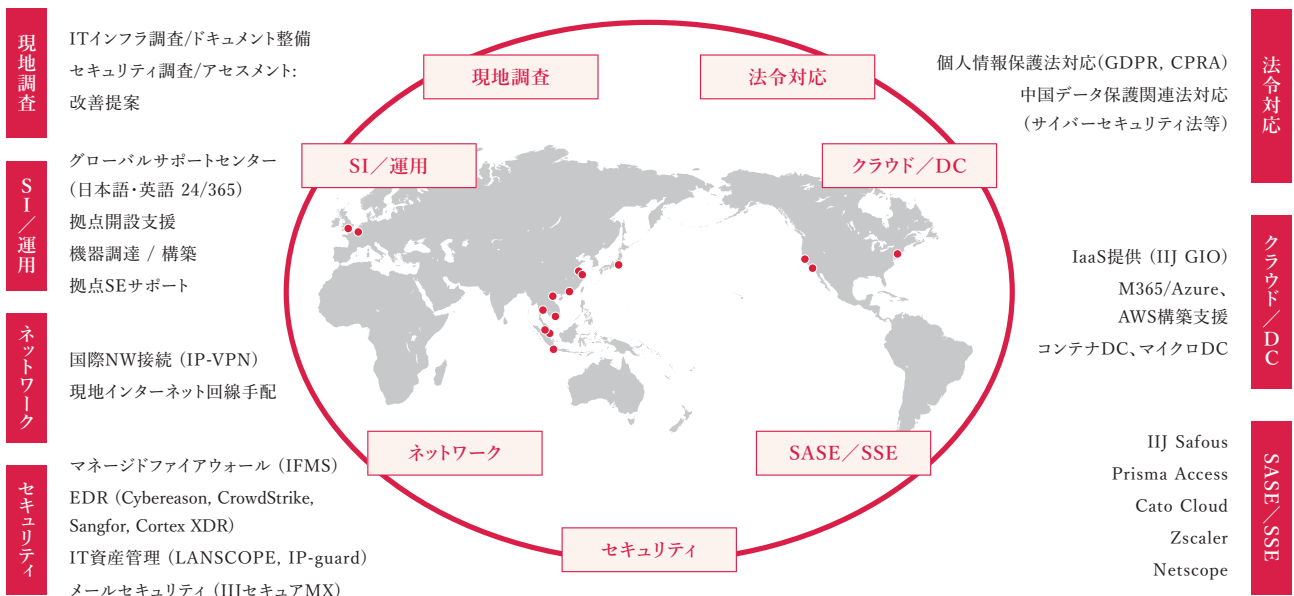
■ IIJグループの海外展開

IIJグループは世界に事業所を設置しています。海外に進出する日系企業や現地企業の、グローバルネットワーク、システム構築・運用、ITプロジェクトマネジメントのニーズに総合的に応えます。



■ IIJのグローバル・ソリューションマップ

日本で培った豊富な知見を活用し、グローバルでお客様にIT課題解決をサポート。マレーシアのペタリン・ジャヤには24時間365日、日本語と英語で対応可能なグローバルサポートセンターを設けています。



PickUP : IIJ Safous



Safousは日本だけでなく海外拠点でもご利用いただけるグローバルセキュリティサービスです。社内情報資産への安全なアクセスを実現するSafous特権リモートアクセスやアタックサーフェスのセキュリティリスクを可視化するSafous Security Assessmentなど、攻撃者に狙われやすいグローバルサプライチェーンのセキュリティ強化を実現します。

■ インターネット技術の発展に向けた活動

研究開発と情報発信で未来の技術を創る

IIJグループでは、研究開発や講演、レポートなどを通じた情報発信により、だれでも、快適で、安全に使えるインターネットの実現を推進しています。

新技術の研究開発

IIJの技術研究所は、次世代のインターネットを形成するための新技術開発、IIJグループならびにインターネットコミュニティとの技術連携、イノベーションやコラボレーションを牽引する人材の育成を行っています。

情報発信による技術の発展

日頃の活動を通じて得たインターネットの利活用に関する技術的な知見や成果を、セミナーや技術レポート、ブログで公開しています。技術の発展に寄与する団体への参加も積極的に行っています。



IIJ Techチャンネル

IIJのエンジニアがインターネットにまつわる技術的な情報や取り組みを、動画で紹介しています。

もっと詳しく
<https://youtube.com/playlist?list=PLTKODctBx8g8JgiuY6DZiryJZTwpEdk4K>



Internet Infrastructure Review (IIR)

インターネットの基盤技術に関する最新の技術動向や、セキュリティ情報を発信する季刊の技術レポートです。

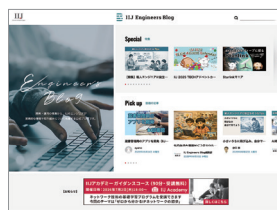
もっと詳しく
<https://www.iiij.ad.jp/dev/report/iir/>

IIJアカデミー



未来のネットワーク社会を担うトップエンジニア育成のため、IIJ創業30周年を記念して立ち上げました。IIJが創業以来培ってきたインターネットサービス開発・運用の知見をベースに、実践的な知識・スキルを習得できる学びの場を提供し、これからのデジタル社会の発展を支える高度な技術を持つIT人材の育成を目指します。

もっと詳しく <https://www.iiij.ad.jp/iiijacademy/>



IIJ Engineers Blog

開発・運用の現場から、IIJのエンジニアが技術的な情報や取り組みについて執筆する公式ブログです。

もっと詳しく
<https://eng-blog.iiij.ad.jp/>



wizSafe Security Signal

IIJが収集・観測した情報をもとにインターネット上の脅威動向や新たな攻撃手法などの情報を掲載しています。

もっと詳しく
<https://wizsafe.iiij.ad.jp/>

■ サステナビリティ

持続可能な社会の実現に向け、技術革新の創出を通し、環境問題をはじめとする課題の解決に貢献していきます。



3つの重要課題とそれに紐づく8つの取り組みテーマを特定し、事業活動に取り組んでいます。

もっと詳しく <https://www.iiij.ad.jp/sustainability/>

■ 文化活動への支援

社会の一員として、人々の心に潤いを与え社会を豊かにする芸術・文化活動への支援を行っています。



Photo :
Monika_Rittershau

ベルリン・フィルへのストリーミング技術の支援、東京・春・音楽祭への協賛、TWILIGHT CONCERTの開催など。

もっと詳しく <https://www.iiij.ad.jp/sustainability/sca/>

■ 品質保証

安心・安全を提供するために

品質

サービスを安心してご利用いただくために、SLA（品質保証制度）や外部機関のセキュリティ認証を取得するなどの取り組みを行っています。

サービス品質保証制度

IIJは1999年に日本で初めてSLA(Service Level Agreement)を開始しました。各評価項目について保証値を提示することでサービスの品質を客観的指標によって保証しています。

もっと詳しく <https://www.iiij.ad.jp/svcsol/sla/>

インターネット接続サービスなど

可用性 当社との接続が常に利用可能	遅延時間 国内バックボーン全体の 月あたり 平均往復遅延時間25ms以下
パケット損失率 国内バックボーン全体の 月あたり 平均パケット損失率0.1%以下	障害通知 障害を検知後、 30分以内にお客様の指定する 連絡先に通知

クラウドサービス

稼働率 仮想サーバの稼働率 99.99%以上

サポート

ネットワーク、サーバ、ストレージにまつわる専門のエンジニアが24時間365日体制でサービスホストを監視・運用。システム障害が発生した場合、迅速かつ確実な復旧を行い、停止時間を最小限にとどめます。

組織運営

情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) やプライバシーマークなど、第三者機関による認証の取得に努めています。

情報セキュリティ基本方針

すべての社員が、情報セキュリティへの取り組みの規範となる「情報セキュリティ基本方針」に従い、倫理観を持って業務に携わり、組織的かつ継続的な組織運営に取り組むことを宣言いたします。

もっと詳しく
<https://www.iiij.ad.jp/securitypolicy/>

組織運営における認証取得

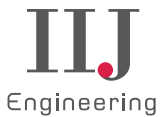
情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) IS 512641 / ISO 27001	品質マネジメントシステム (QMS) FS 738021 / ISO 9001	個人情報保護 21000039
BCR(拘束的企業準則) 2021年8月5日付 LDI NRWより承認取得	APEC CBPR (Cross Border Privacy Rules : 越境プライバシールール) 2022年9月15日付 認証取得	

■ グループ会社一覧

プロバイダー事業から各種アウトソーシング、
ネットワーク・システム・インテグレーションなど、ネットワークに関するサービス全般を提供いたします

主な連結子会社

2026年7月1日現在

	株式会社IIJエンジニアリング ネットワークの運用管理、テクニカルサポート、コールセンターなどのアウトソーシング受託 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館 Tel：03-5205-4000 URL：https://www.iij-engineering.co.jp
	株式会社IIJグローバルソリューションズ WANサービスの提供をはじめとする、国内ネットワーク・アウトソーシングサービス関連事業 及び国際ネットワーク関連サービスを提供 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム Tel：03-6777-5700 E-mail：info@iijglobal.co.jp URL：https://www.iijglobal.co.jp
	ネットチャート株式会社 LAN関連を中心としたネットワーク構築事業 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-15-10 YS新横浜ビル Tel：045-476-1411 E-mail：info@ncj.co.jp URL：https://www.ncj.co.jp
	株式会社IIJプロテック 法人向けのシステム運用、サービスサポート業務を中心に幅広くアウトソーシング事業を展開 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム Tel：03-5205-6766 URL：https://iij-protech.co.jp
	株式会社センシフィア 農業向け高精度水分センサーの開発・販売、灌水ナビゲーションサービスを提供 〒162-0813 東京都新宿区東五軒町6-22 フロントプレイス飯田橋 Tel：03-5205-6890 URL：https://www.sensiphia.com
	株式会社トラストネットワークス 金融決済サービス(ATM運用サービスなど)の企画・運営 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム Tel：03-5205-6490 E-mail：info@trust-networks.com URL：http://www.trust-networks.com
	IIJ America Inc. 米国におけるISP事業及び当社の米国インターネットバックボーン網の構築と運用 55 East 59th Street, Suite 18C, New York, NY 10022, U.S.A. Tel：1-212-440-8080 E-mail：info@iij-america.com URL：https://us.iij.com
	IIJ Europe Limited 高品質なサービスと付加価値の高いSIの提供を通じ、欧州に拠点を持つ日系企業のIT導入を支援 1st Floor 80 Cheapside London EC2V 6EE, U.K. Tel：+44 (0)20 7072 2700 E-mail：info@eu.iij.com URL：https://uk.iij.com

	IIJ Global Solutions Singapore Pte. Ltd. シンガポールにおけるインターネット接続サービス、ネットワークやシステムの構築・運用保守、クラウドサービスの提供等 160 Paya Lebar Road #03-07 Orion @ Paya Lebar Singapore 409022 Tel：+65-6773-6903 E-mail：sales@ap.iij.com URL：https://sg.iij.com
	PTC SYSTEM (S) PTE LTD 主としてシンガポールにおいて、ストレージ・サーバー関連のシステム構築を中心としたソリューションを提供 10 Kallang Avenue #07-12 Aperia Singapore 339510 Tel：+65-6282-0255 E-mail：sales@ptcsys.com URL：https://ptcsys.com
	艾杰(上海)通信技术有限公司 中国におけるネットワークやシステムの構築・運用保守、クラウドサービスの提供等 邮编200031 上海市徐匯区長樂路989号 世紀商貿広場 3階 301B-302 Tel：+86-21-8026-1899 E-mail：gschina-sales@iijgschina.com URL：https://cn.iij.com

持分法適用関連会社

	インターネットマルチフィード株式会社 インターネット相互接続(IX)サービス、IPv6ローミングサービスなどを提供 〒101-0047 東京都千代田区内神田3-6-2 アーバンネット神田ビル10F Tel：03-6262-0940 E-mail：info@mfeed.ad.jp URL：https://www.mfeed.ad.jp
	JOCDN株式会社 動画配信のためのCDN(Content Delivery Network)サービスを提供 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム Tel：03-5205-6586 E-mail：info@jocdn.co.jp URL：https://www.jocdn.co.jp
	株式会社DCP デジタル通貨の取引・決済を行う金融サービス事業を展開 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム URL：https://www.dcpy.com/

■ 会社情報

会社概要

		2026年3月31日現在
名 称	株式会社インターネットイニシアティブ Internet Initiative Japan Inc.	
本 社 所 在 地	〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム Tel：03-5205-6500 E-mail：info@ij.ad.jp URL：https://www.ij.ad.jp/	
設 立 年 月 日	1992年12月3日	
資 本 金	23,123百万円(単体)	
従 業 員 数	連結 5,533人 単体3,174人	
事 業 内 容	インターネット接続サービス、WANサービス及びネットワーク関連サービスの提供、 ネットワーク・システムの構築・運用保守、通信機器の開発及び販売	
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 (2022年4月4日移行、証券コード：3774)	
主 要 株 主	KDDI株式会社、NTT株式会社／NTTドコモビジネス株式会社、 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、鈴木 幸一	
主 要 取 引 銀 行	三井住友銀行 みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行	

連結業績概況(国際財務報告基準(IFRS))

		2026年3月期
売 上 収 益	3,454.0億円	
営 業 利 益	348.4億円	
親会社の所有者に帰属する当期利益	241.9億円	

役員

		2026年6月26日現在
取締役／監査役	代表取締役	鈴木 幸一 谷脇 康彦 (*1)独立社外取締役 (*2)社外監査役
	取締役	北村 公一 渡井 昭久 島上 純一 塚本 隆史(非常勤)*1 佃 和夫(非常勤)*1 岩間 陽一郎(非常勤)*1 岡本 厚(非常勤)*1 鶴巢 香穂利(非常勤)*1
	監査役	飛田 昌良 田中 正子 麻生 久美子(非常勤)*2 原田 史緒(非常勤)*2
	会長執行役員	鈴木 幸一(Co-CEO) (*3)CISO: Chief Information Security Officer, CRO: Chief Risk Officer, CPO: Chief Privacy Officer
	社長執行役員	谷脇 康彦(Co-CEO & COO)
執行役員	副社長執行役員	北村 公一 渡井 昭久(CFO) 島上 純一(CTO)
	専務執行役員	川島 忠司 米山 直志(CIO) 越智 俊城
	常務執行役員	鯉坂 慎 山井 美和 丸山 孝一 立久井 正和 墨矢 亮(CISO, CRO, CPO)*3 大西 丈則 矢吹 重雄 荒木 健 城之内 肇 井手 隆裕 染谷 直 日山 孝彦
	執行役員	白崎 博生 波多野 剛 齋藤 衛 黒澤 憲太郎 中 嘉一郎 林 賢一郎 山家 秀樹

組織体制



支社／支店／営業所

関 西 支 社*	〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜4-7-28 住友ビルディング第2号館 Tel：06-7638-1400 Fax：06-7638-1401
名古屋支社	〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南1-24-30 名古屋三井ビルディング 本館4F Tel：052-589-5011 Fax：052-589-5012
九 州 支 社	〒812-0039 福岡県福岡市博多区冷泉町2-1 博多祇園M-SQUARE Tel：092-263-8080 Fax：092-263-8100
北海道支店	〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西4-1 札幌三井JPビルディング18F Tel：011-218-3311 Fax：011-218-3312
東 北 支 店	〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4丁目4-19 アーバンネット仙台中央ビル11F Tel：022-216-5650 Fax：022-216-5651
横 浜 支 店	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-15-10 YS新横浜ビル8F
北信越支店	〒930-0856 富山県富山市牛島新町5-5 タワー111 5F Tel：076-443-2605 Fax：076-443-2606
中四国支店	〒732-0822 広島県広島市南区松原町2番地62号 広島JPビルディング16階 Tel：082-568-2080 Fax：082-568-2088
沖 縄 支 店	〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地1-7-1 琉球リース総合ビル Tel：098-941-0033 Fax：098-941-0034
新潟営業所	〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通1丁目3番1号 INPEX新潟ビルディング4階 Tel：025-244-8060
豊田営業所	〒471-0025 愛知県豊田市西町4-25-13 フジカケ鐵鋼ビル5F Tel：0565-36-4985

※関西支社は2026年11月に移転予定(新住所：〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜4-1-1 淀屋橋ゲートタワー18階)

■ 沿 革 日本のインターネットは、IIJと共に始まり、発展してきました

1992-1994

黎明期

IIJは国内初のインターネットのための企業（ISP）として1992年12月に誕生しました。インターネットという、それまでの常識を覆す「通信」をベンチャー企業が手がけることについて政府の理解がなかなか得られませんでした。IIJが主催するインターネットを紹介するセミナーはいつも満席でした。そして1994年3月、IIJが満を持してインターネット接続サービスを開始すると、すぐに利用の申し込みが殺到します。こうして日本の商用インターネットは始まりました。

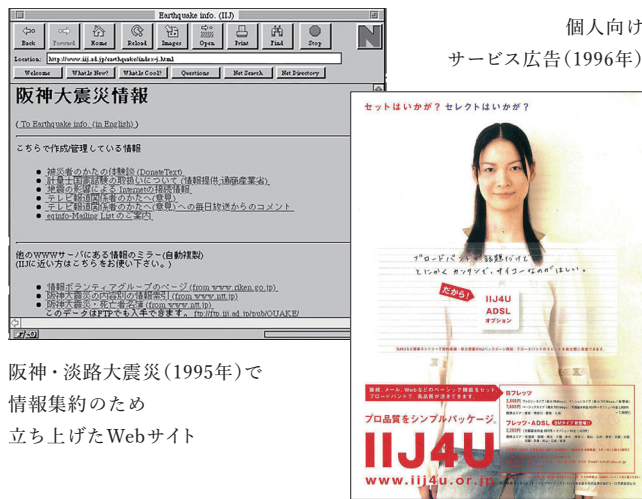


創業当時のオフィス（1992年）
特別第二種
電気通信事業者として
登録完了（1994年）

1995-1997

勃興期

日本全国に急速に拡大したIIJのネットワークは、多くのインターネット利用者を迎えることになります。企業はインターネットを情報発信の場として認識し、それを支える配信サービスが立ち上がります。そうしたコンテンツを見るために個人のインターネット利用も盛んになり、それに応えた個人向け接続サービスも拡充されました。国を超えて広がるインターネットを支えるため、アジア太平洋各国との協力も始まりました。



個人向け
サービス広告（1996年）
阪神・淡路大震災（1995年）で
情報集約のため
立ち上げたWebサイト

1998-2004

普及期

ビジネスの拡大をインターネットが支える時代がやってきます。多くの場所を簡単につなぐ。たくさんのアクセスに耐えるシステムをすぐに作る。ビジネスの要求に応えるために、新しい技術が開発され、新しいサービスが始まります。そんなインターネットへの期待を背負い、IIJは日本を飛び越え米国NASDAQへ上場を果たしました。



高性能ルータ
「SEIL」初出荷（1998年）

NASDAQ上場（1999年）

2005-現在

社会インフラ化

インターネットがビジネスだけでなく社会を支えるようになります。一方でそんなインフラを破壊しようと試みる悪意も苛烈になります。サイバーセキュリティが社会の重要事として認識される中、IIJはこれまでに培ってきた技術と経験を駆使してインターネットの運用に力を入れます。これまで以上に使いやすく・安全なインターネットを目指して、これからもIIJは先頭になって歩きます。



MVNO事業開始（2008年）



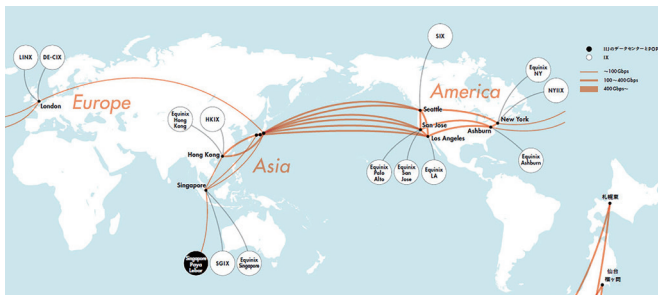
東証一部上場（2006年）



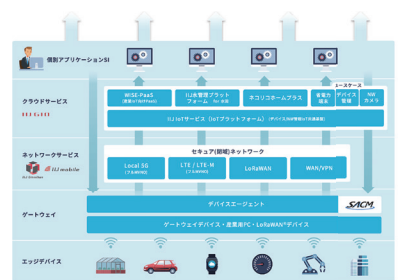
クラウドサービスIIJ GIO開始（2009年）



松江データセンターパーク開設（2011年）



バックボーンネットワークを欧州に拡張（2013年）



IIJ IoTサービス開始（2016年）



セキュリティオペレーションセンター開設（2017年）



白井データセンターキャンパス開設（2019年）

もっと詳しく IIJの企業沿革及びサービス沿革の詳細は、QRコードをご覧ください。

ご参考 IIJの2024年度～2026年度中期計画は、QRコードをご覧ください。